



回復期リハビリ病棟での新たな取り組み

当院の回復期リハビリ病棟では、昨年度から看護師、ケアワーカー、リハビリで協力して『リハビリテーション栄養』と『集団起立運動』を開始しました。

栄養に関しては、全国的に回復期リハビリ病棟に入院されている方の多くが低栄養状態、または今後低栄養となる危険性があると報告されており、また低栄養状態でのリハビリは、かえって機能低下を招いてしまう恐れがあると報告されています。当院の回復期病棟においても、リハビリ栄養評価を開始した結果、多くの方が栄養状態に問題が生じている可能性があることが分かりました。この評価結果をもとに、栄養科と相談して食事の見直しが入ることになりました。また、希望者のみとなりますが、栄養補助食品の導入も開始しています。

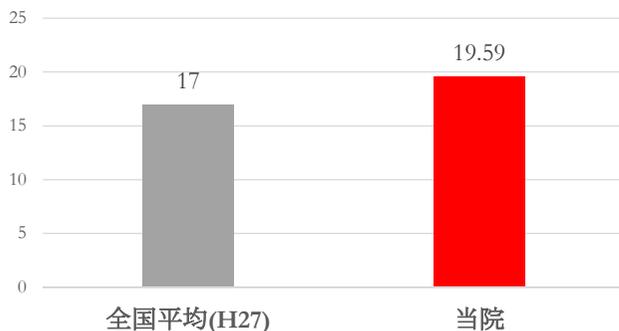
集団起立運動に関しては足腰の筋力や体力向上を図る目的で、2階病棟詰所前にて、号令に合わせて立ち座り運動を行っています。この起立運動は、こまめに休憩を挟みながら1日60回程度、スタッフ・患者様が声を出し、また手を叩いてカウントしながら、和気あいあいと楽しく実施しています。

これらの取り組みを開始してから、**患者様の日常生活での動きの改善度**（FIM：機能的自立度評価法）が**全国平均より高い値**になり、取り組みの成果がみられてきているのではないかと感じております。

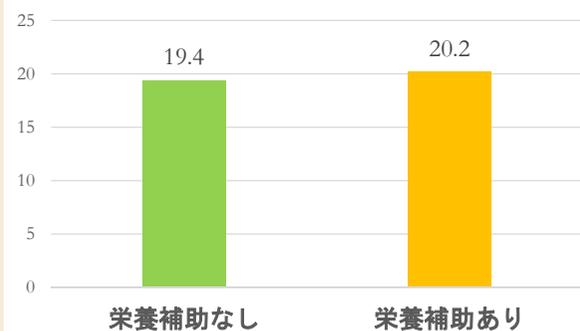
回復期リハビリ病棟では、今後も適切な栄養管理と運動を行うことで、出来るだけ早く良い状態で退院していただけるように努めていきます。

リハビリテーション科 稲増真利 前田成孝

日常生活の動きの改善度



日常生活の動きの改善度



日常生活の動きの改善度

